



ことばの教室だより

明石市立明石小学校 言語通級指導教室
(078) 918-5430 No. 4

「みなさん、こんにちは！」 ことばの教室です。今回は、「難聴学級」についてお知らせします。



「難聴学級」ってどんなところ？

明石小学校には、「ひばり学級」といって、聴覚に障害がある児童が在籍する学級があります。本年度から林小学校にも難聴学級が開設され市内で2学級となりました。明石小学校では子どもたちが校区外からも通学してきています。言語学習や聴覚学習などの自立活動も行っています。



「難聴」とは？

「難聴」とは、読んで字の通り「ききとりが難しい」、つまり「きこえ」の障害です。その程度は様々ですが、補聴器や人工内耳をつけることで、多くの難聴児が一定の音のきき取りが改善されます。そのため、周りから見ると「きこえにくい」ことが非常に分かりにくく、「きこえている」と誤解されがちです。しかし、実際は音が歪んで聞こえていたり、数メートル離れると音が拾えなかったりするなど、日常生活において不自由さや困難さを感じていることが多いのです。



難聴児にとって苦手なこと

学校生活の中で、難聴児にとって一番の敵が「騒音」です。音のきき分けが難しい難聴児にとって、騒音下で音や声をきき分けることは、非常に苦手です。友だちとの会話やグループでの話し合いなどはもちろん、雑音の中での先生の指示などの場面で、確実に理解することは難しいのです。そのような時には、口の動きをよんだり、周囲を見たりしながら、視覚情報で理解を補っているのです。そのため、口元を見せて、ややゆっくりめに話しかけることが、難聴児にとってはとても助かります。また、ジェスチャーなどの視覚支援を行い、目からの情報を増やして伝えることも大切です。



難聴学級・交流学級でのようす



騒音を減らすために、全クラスの児童の机・椅子の脚に、テニスボールを取り付けています。



FM システム

騒音下でも、難聴児に正確に声を届けるための機械です。交流学級の先生は、普段このピンマイクをつけて授業を行います。また、友だちの発表の声をしっかり届けるために、交流学級の児童はハンドマイク（FM 連動式）を使って発表などをします。



手話学習会（オープン化）



難聴者とのコミュニケーション手段の一つとして、全校生から希望者を募って手話体験学習をしています。講師の先生を招き、ひばり学級の児童と一緒に学習しています。

難聴について、ご質問やご相談がありましたら、明石小学校までご連絡ください。

難聴学級担任 本田 学